
「知覚連動システムと老化プロセス」セミナー

“慢性退行性疾患がモビリティに与える影響”

講師 ウォルフガング ラウベ 医学博士

日時 2018年6月30日(土)10:00~17:00、7月1日(日)9:30~16:00

会場 公益財団法人 大学セミナーハウス(八王子)

募集人数 50名

協力 (株)GOZO
臨床歩行分析研究会
江原義弘 新潟医療福祉大学教授 他

プログラム 別紙参照

参加費 基本セミナー ¥40,000(2日間の昼食含む)

懇親会 6月30日(土)セミナー終了後
参加費 ¥5,000(お食事と飲み物)

宿泊 希望者には会場敷地内の宿泊施設を斡旋致します。(数に限りがあります)
シングル ¥5,340~¥6,360(朝食希望者別途¥550)

申込み 別紙の申し込みフォームを用いて e-mail または FAX でお申込み下さい。

主催 OSM クレメンス ハーゲン

問い合わせ HM SAPERE ハーゲン愛美まで
電話 090-1865-6917 FAX 0261-62-9919
e-mail: hmsapere-seminar@yahoo.co.jp



「知覚運動システムと老化プロセス」セミナープログラム

老化プロセスとヒトの運動 - ヒトの運動は知覚運動システムによって実現する - 身体の構造と機能を保持するための基礎 - 可能な限り虚弱発生を予防するための基礎

1 日目: テーマ: 老化プロセス-生理学的プロセス - すべての身体機能の維持、慢性退行性疾患の予防、地域社会への参加と長期モビリティのための、健全な身体発達を目的とした運動および身体活動の基礎

10:00-12:00 テーマ: 運動と適度な負荷は、健全な身体機能維持のために生涯に亘って必要であり、メタボリックシンドロームなどのような運動不足による疾患群、Ⅱ型糖尿病のような代謝性疾患、うつ病、結腸癌、前立腺癌、乳癌などのような腫瘍学的疾患、関節症などのすべての慢性退行性疾患に対して効果を持つ。

なぜ運動、疾患、老化プロセスというテーマに取り組むのか？

健康者、患者、高齢者の視点における運動能力要素とモビリティ: 生物学的年齢; トレーニング、健康状態、慢性的不活動-オフィスワーク等、ヒューマンインターフェイスの条件-環境(靴、インソール、接地面)、創傷、代謝や関節の慢性退行性疾患(関節症)、老化プロセス

13:00-15:00 テーマ: 知覚運動システムの身体活動および不活動: 生体の健康状態の管理。活動と不活動-知覚運動システムの構造、機能のモジュレータ、老化の速度。“慢性的身体不活動”による疾患群(運動不足による疾患-Pedersen 2009)

負荷と適応のサイクル: 身体の構造、機能、性能の基礎、および治療効果の基礎-予防、治療、リハビリの観点における積極的治療効果の背景

慢性的身体不活動は、長期または非常に長期に亘り、全身の体組織にインシュリン抵抗性および全身性慢性低悪性炎症を本人の認識がないまま進行させ、様々な慢性退行性疾患を引き起こすが、この慢性的身体不活動と老化プロセスは同様の効果をもつ-進行プロセスが長期的であるため、中高年で疾病が可視化される

15:30-17:00 テーマ: 身体の中の構造が必要な運動を担っているのか? 知覚運動システム: オーガナイザー、レギュレータ、パフォーマンスプロバイダはすべての考えられる運動と、構造的、機能的恩恵を与える。身体の中の構造が機能性のための運動と努力の指令を与えているのか?

知覚運動システムの構造と機能-身体“ロジスティクスシステム”(肺、循環器系、エネルギー代謝)、結合組織(筋の結合組織鞘、関節包、靭帯、腱)、骨組織、代謝における同化のシステム、痛みの緩和の相互関係

2 日目: テーマ: 理論と実践における老化プロセス

9:30-12:00 テーマ: 知覚運動システムは持続性と力の運動調整または運動管理を行い、健康維持と虚弱発生が遅延に対して、非常に特殊な身体反応を引き起こす。身体反応は非常に特異的で相互調整されているため、互換性はない。老化プロセスにおいて、身体はどのように変化し、その変化は身体機能にどのような影響をもたらすのか?

転倒の危険性の発生と療法の効果(運動、トレーニング)

13:00-15:00 テーマ: “高齢者疑似体験セット”を使用した実践的デモンストレーション

デモンストレーションおよび実験:

加齢による機能低下: 視力、関節可動域と拘縮、虚弱、把持能力および協調性の低下、精神的ストレスの増加、運動不安定性の増加、背部痛

15:15-16:30 テーマ: “高齢者疑似体験セット”を使用した実践的デモンストレーション

セミナー全体の様々なポイントごとに、知覚運動システムの構造とパフォーマンスについての実践的ヒントを紹介。

* 時間的制約などのため、プログラムは予告なく変更される場合がございますので、予めご了承下さい。

講師プロフィール

Dr. Wolfgang Laube ウォルフガング ラウベ医学博士

1952年生まれ

1976年 ベルリン医科大学（フンボルト大学ベルリン医学部）卒業、医師免許取得

1976 – 1982年 スポーツ医学研究、ライプツィヒDHFk講師

1982 – 1990年 ドレスデン スポーツ医療サービス中央施設勤務

- 1982: 医学博士号取得 フンボルト大学ベルリン生理学研究所

- 1983 - 1990: 神経筋機能診断学教授

- 1983 - 1989: スポーツ医療サービス、スポーツ理学療法講師

- 1990: ハビリテーション（療育）学研究 生理学博士号取得

1990 – 2000年

- Bavaria Kreischa病院 研究開発長

2000 – 2001年

ローテンブルグ整形外科病院 リハビリテーション科 上級医師、指導医リーダー

2001年 – 現在

インスブルック大学附属 オーストリア国立フェルトキルヒ／ランクワイル病院勤務

- 2001 – 2010年 リハビリテーション科 上級医師

- 2002年より現在 Vorarlberg州、体操協会責任医師

- 2006年 徒手医学療法認定資格取得

- 2010年より現在 リハビリテーション科上級医師リーダー

その他：ベルン応用科学大学客員教授 理学療法士に対するリハビリテーション学（理学修士）

ドナウ大学クレムスのドイツ姉妹校客員教授 理学療法士へのリハビリ学講座責任者

著書：

- **Laube W:** Physiology, Exercise Physiology, Pathophysiology. Sports science and training.

生理学、運動生理学、病態生理学。スポーツ科学とトレーニング ドイツ語（日本語仮タイトル）

編集：Hüter-Becker A, Dölken M: Biomechanik, Bewegungslehre, Leistungsphysiologie,

Trainingslehre. 生体力学、運動科学、運動生理学、スポーツ科学—トレーニング（日本語仮タイトル）、

ティームメディカル出版 初版2004年、第2版2011年 ISBN 3-13-136861-6 *日本語翻訳決定*

- **Laube W:** Was ist Koordination? Bewegungsregulation und sensomotorisches Lernen.

Koordinatives Training. 協調とは何か？運動制御と知覚連動学習。知覚連動協調のトレーニング。ドイツ語

（日本語仮タイトル）

共著、編集：Bertram A, **Laube W** : Sensomotorische Koordination – kreiselübungen 知覚連動協

調—バランスボードでトレーニング（日本語仮タイトル）

ティームメディカル出版 2008年 ISBN 978-3-13-143791-4

- **Laube W** 著、編集：Sensomotorisches System 知覚連動システム ドイツ語（日本語仮タイトル）

ティームメディカル出版 2009年、ISBN 978 – 3 – 13 – 148371 – 3

-その他、スポーツ医学、知覚連動、老化プロセス、生物物理学等に関する論文発表多数

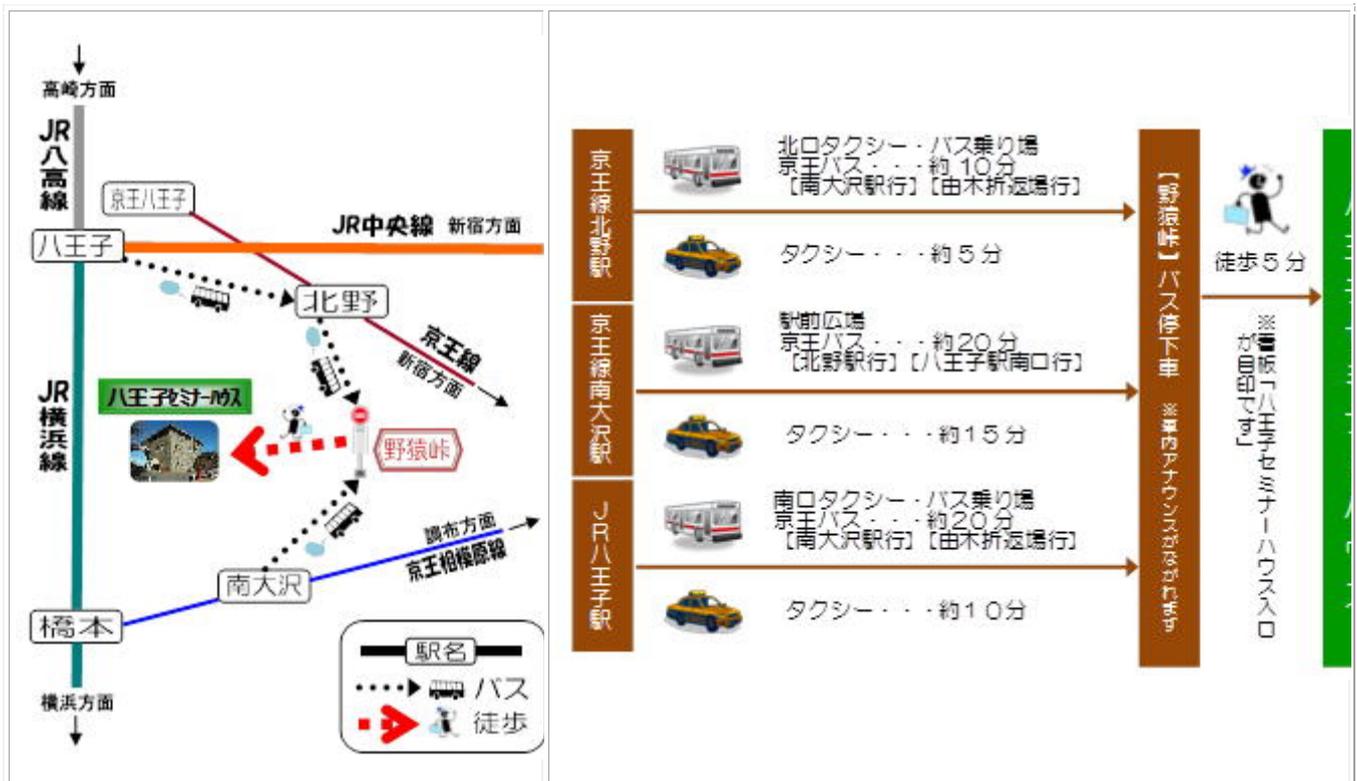
会場案内

開催日：2018年6月30日(土)、7月1日(日)



JR 八王子駅、または京王北野駅より

京王バス、いずれのバスも「野猿峠(やえんとうげ)」停留所で下車ください。



時刻表・運賃は京王バスナビをご覧ください。

交通案内 <http://www.seminarhouse.or.jp/access/index.html>

公益財団法人 大学セミナーハウス
〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1
TEL : 042-676-8511 (代表)

